

2013年度 第1回 ワークショップ

患者の語り(ナラティブ)で医療系教育が変わる!!

—健康と病いの語りデータベース (DIPEX-Japan) の教育的活用—

日 時：2013年10月26日（土）13:00～17:00

場 所：慶應義塾大学信濃町キャンパス
孝養舎 4階（401教室）

プ ロ グ ラ ム

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～14:00 「DIPEXの概要とDIPEX-Japan ウェブサイトについて」
別府宏圀（NPO健康と病いの語りディベックス・ジャパン理事長）
- 14:00～14:45 「ナラティブと医療」
中村千賀子（NPO健康と病いの語りディベックス・ジャパン 運営委員）
- 14:45～14:55 グループワークオリエンテーション
ファシリテータ自己紹介
- Coffee Break & 移動（10分）
- 15:05～16:25 グループワーク
- 16:25～17:00 発表&ディスカッション

★ご参加の皆様とともに実際の映像を見ながら、患者の語り（ナラティブ）を医療系教育で用いることの意義や課題を検討し、新たな活用法を模索することを目的としています。

募集人数：50名（先着順）

参加費用：無料

申し込み方法：e-mail education@dipex-j.org

「10/26ワークショップ参加希望」というタイトルで氏名、所属、専攻、担当科目名を記して、お申し込みください。（10/20締切）

【主催】平成23～25年度厚生労働科学研究補助金第3次対がん総合戦略研究事業：国民のがん情報不足感の解消に向けた「患者視点情報」のデータベース構築とその活用・影響に関する研究
研究代表者：中山健夫(京都大学大学院医学研究科)、分担研究者：別府宏圀